

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	音楽表現（歌唱）				
担当者氏名	児玉 達郎				
授業方法	講義	単位・必選	1・選択必修	開講年次・開講期	1年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

情操教育となる子ども達の音楽活動を指導する上で、指導者自身にも豊かな音楽的鑑賞力・表現力が必要とされる。この授業では音楽基礎演習で習得した音楽的基礎知識や読譜力を用い、幼児歌曲、小学校の歌曲教材など様々な歌唱教材を使い、より高度な音楽表現へとつなげる。また、音をつかかって楽しみ、楽しませる事が出来るよう音楽的基礎技能もより発展させる。

《テキスト》

供田 武嘉津「学生の音楽通論」音楽之友社
 松山 祐士「こどもの歌 名曲アルバム」ドレミ楽譜出版社

《参考図書》

必要資料、楽譜、楽器等は、授業内で随時配布、または指示、紹介する。

《授業の到達目標》

実技テストとして弾き歌い、アカペラによる独唱、及び最後にグループによる重唱の発表、全員による合唱の発表を自分達で企画する。グループでの取り組み・発表もあるため、欠席でグループのメンバーに迷惑をかけないように留意する。

《授業時間外学習》

音楽的基礎技能は、表現力を豊かにするために学習するものである。学んだことを実技に反映する事が出来るよう個々に復習し、学習を積み重ねていく。

《成績評価の方法》

・平常点（受講態度・小テスト・グループ及び全体発表）・・・60%
 ・個人実技テスト・・・20%
 ・筆記テスト（音楽理論）・・・20%
 各自、配布プリント用ファイル及び五線ノートを用意する事。

《備考（教員経験の有無）》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション： 講義ガイダンス	個々の音楽的知識を把握する。
2	季節の歌：春の歌 音楽理論：連符とリズム	歌唱法を学び、春に歌われる幼児歌曲を演奏する。基礎リズムを発展させ新しいリズムを学ぶ。
3	季節の歌：夏の歌 音楽理論：リズム遊び	歌唱法を学び、夏に歌われる幼児歌曲を演奏する。学んだリズムを演奏につなげる。
4	季節の歌：秋の歌 音楽理論：音程①	歌唱法を学び、秋に歌われる幼児歌曲を演奏する。2, 3, 6, 7度を中心に音程を学ぶ。
5	季節の歌：冬の歌 音楽理論：音程②	歌唱法を学び、冬に歌われる幼児歌曲を演奏する。1, 4, 5, 8度を中心に音程を学ぶ。
6	生活・行事の歌 音楽理論：コードネーム	学んだ歌唱法を用いた生活・行事の歌が弾き歌いできるようになる。コードネームを学び演奏につなげる。
7	発声とアカペラ唱	正しい発声をはじめとする歌唱法に気を付けながら、手拍子をしながらアカペラで演奏できるようになる。
8	アカペラによる独唱発表	手拍子を用い、幼児を意識したアカペラ唱を発表する。
9	小学校低学年の歌 音楽理論：音階と調号	小学校低学年で歌う歌曲を学ぶ。音階の成り立ちを学び、調号の理解を促す。
10	小学校中学年の歌 音楽理論：調号と臨時記号	小学校中学年で歌う歌曲を学ぶ。調号と臨時記号を理解する。
11	小学校高学年の歌 音楽理論：音楽記号	小学校高学年で歌う歌曲を学ぶ。音楽記号を演奏を通して学ぶ。
12	発表会に向けての練習：重唱の練習	15回目の発表会に向けて重唱を学ぶ。
13	発表会に向けての練習：指揮の練習	指揮を学ぶ事で演奏法の変化を感じる。
14	発表会に向けての練習：全体合唱練習	発表会に向けて合唱の練習を行う。手遊びを指導し合う。
15	発表会に向けての練習：ゲネプロ	最終発表に向けて、ゲネプロを行い、練習した後発表を行う。